

競技上の注意（個人戦）

審判長：山田健二

＜ルールについて＞

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 11点5ゲームスマッチでタイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、今年度の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
※ゼッケンがまだ届いていない場合は、特例として昨年度のゼッケン使用を認める。

＜アドバイザーについて＞

- 1 1回戦目からベンチコーチを認めます。ただし1試合につきベンチコーチは1人までとし、一度抜けたら再度入りなおすことはできません。
- 2 ベンチコーチはニッタク登録をしている監督か選手のみとなります。

＜進行について（別紙1・2）＞

- 1 別紙1タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。
（タイムテーブルはあくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。）

＜審判について＞

- 1 第1試合の審判は別紙2記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。

＜県大会について＞

- 1 男子は本戦トーナメント4回戦以降で敗退した選手は県大会の出場登録を行って下さい。
- 2 女子は本戦トーナメント2回戦以降で敗退した選手は県大会の出場登録を行って下さい。

＜県大会出場決定戦について＞

- 1 男子シングルス（本戦トーナメント3回戦で負けた64人から32人を選ぶ）
出場決定戦勝者（32人）は県大会出場決定。
- 2 11点の5ゲームスマッチ（3ゲーム先取）とする。
- 3 対象者は、本部にて本選の結果処理および敗者審判後、決定戦本部席で参加確認を行う。
- 4 決定戦により、県大会出場の権利を得た場合、決定戦本部席にて順次、県大会出場登録を行う。

＜交流戦について＞

- 1 初戦敗退者を対象に交流戦を行います。対象者は放送に注意し、コールがありましたら交流戦進行席へ集合してください。